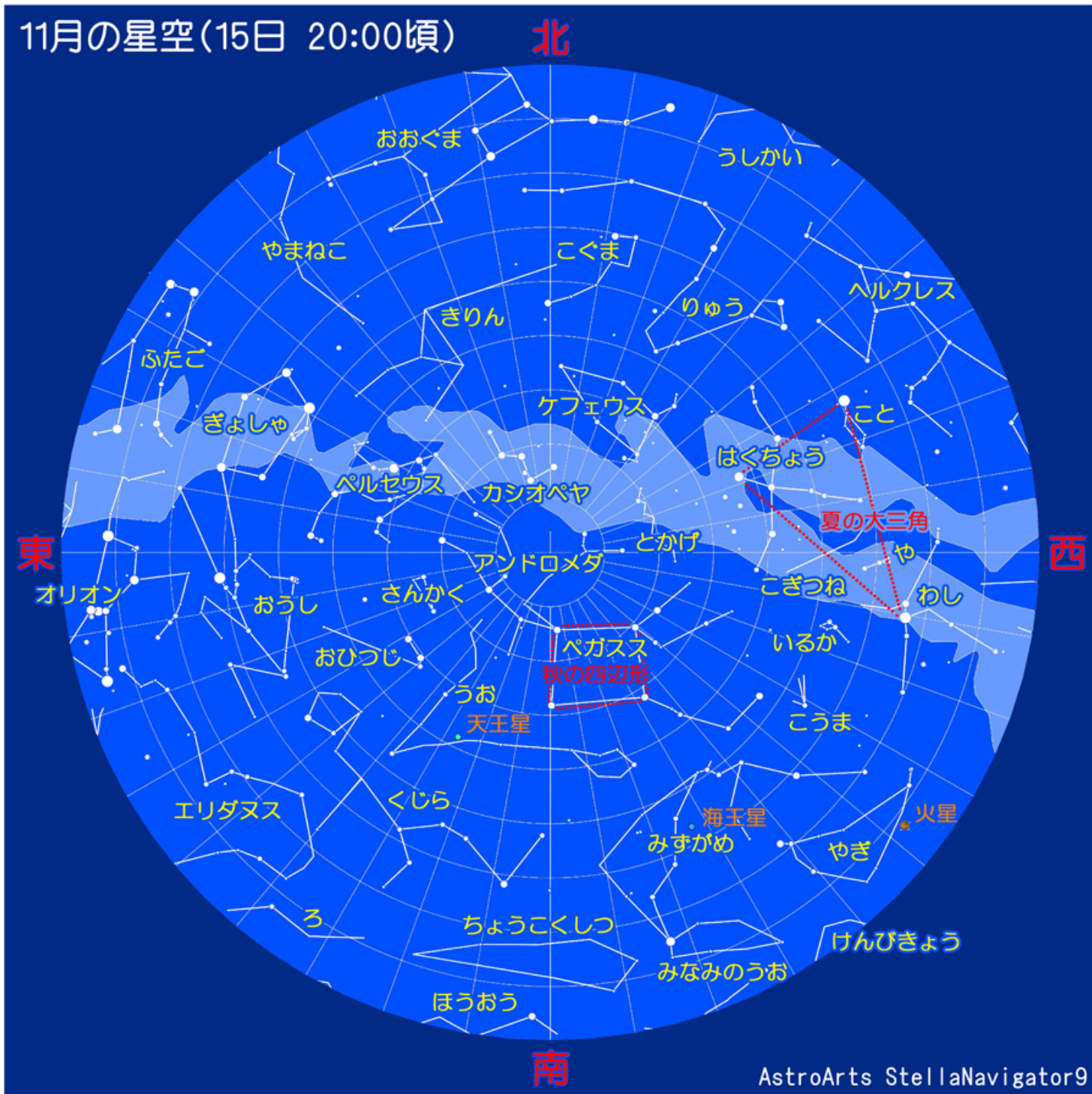


銀河の森天文台 2016年11月のみどころ天体情報



今月のイチオシ！ ☆くじら座

全天で4番目に大きな星座ですが、明るい星が少ないことからそれほど目立つわけではありません。しかしくじら座にはとても有名な星があります。その星の名前は「ミラ」、くじら座の胸のあたりで光っています。この星は初めて発見された変光星で、2~10等まで大きく明るさを変化させます。残念ながら今は暗く肉眼では見えない約8等ですが、3か月後の2月末には約2等まで明るくなります。



月

	出	没
8日	● 上弦	12:31 23:19
14日	● 満月	16:08 05:16
21日	● 下弦	22:57 12:03
29日	● 新月	05:46 16:05

天文台から月を見ることが
できるのは2~17日頃、望
遠鏡での見頃は上弦前後で
す。

距離：約38万km

スーパームーン

11月14日の満月は今年一番近い満月、そう今年一番大きく見える満月です。
この日は休館日ですが、晩秋の空高く輝く、いつもよりほんの少し大きな満月を見上げてみましょう。ちょうど満月となる瞬間は22:52です。

天王星・海王星

太陽系の外側から2つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です。
太陽からの距離
天王星：約29億km
海王星：約45億km

M45 (プリアデス星団)

日本では「すばる」とも呼ばれています。約100個の若い星からなる星団で、双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。枕草子に「星はすばる」と書かれているほど、古くから親しまれてきた天体です。

距離：約410光年

M15 (球状星団)

ちょうどペガサスの鼻先に位置する明るい球状星団です。数十万個もの星々が集まっていて、望遠鏡では中心部まで星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

アルマク (重星)

色違いの重星としては、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、アンドロメダ座のアルマクも美しさでは負けていません。青とオレンジ色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

ガーネットスター (恒星)

ケフェウス座にある恒星で、非常に赤い色をしていることから、ウィリアム・ハーシェルによりガーネットスターと名づけられました。もうじき寿命を迎えようとしている、赤色超巨星のひとつです。

距離：約5260光年

ちょっとマニア

・NGC1664 (散開星団)
ぎょしゃ座のε星の近くにある散開星団で、凧のようなイチョウの葉のような特徴的な形をしている星団です。双眼鏡でも見えますが、特徴的な形を見るのには望遠鏡が必要です。

距離：約3910光年

その他おすすめ

- ・M2 (球状星団)
- ・M31 (銀河)
- ・M33 (銀河)
- ・M37 (散開星団)
- ・M57 (惑星状星雲)
- ・NGC7331 (銀河)
- ・h-χ (散開星団)
- ・フォーマルハウト (恒星)

11・12月の銀河の森天文台カレンダー

11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

開館時間

14:00~22:30
(4月~9月)
13:00~21:30
(10月~3月)
休館日